静岡県農林技術研究所 NEWS

№14　2012.3

【INDEX】

◆視点　・温暖化に対応した柑橘試験研究

◆トピックス　・H23 年度研究成果写真集の発行

◆研究情報　・ガーベラの花持ち向上対策

・鮮やかな黄花のマーガレット新品種 ‘カーニバルクイーン’

視点　果樹研究センター

温暖化に対応した柑橘試験研究

研究統括監　稲葉元良

「気候温暖化」、この言葉が聞かれるようになってからかなりの年月が経ちます。事実、気象庁の発表によれば、わが国の気温上昇はこの 100 年間に 1.04℃となっており、世界全体の 0.74℃に比べ大きな上昇幅となっています。農業は日々の気象の影響を受けやすい産業であり、果樹農業ももちろん例外ではありません。

しかし、この 100 年間で農業を取り巻く状況は栽培、品種とも大きく変わっており、気温上昇だけでその影響を考えることは難しい面があります。ただ、1970 年以降のわが国の年平均気温の変動を見ると、80 年代の終わりを境に大きく変化しており、70～90 年の平均と比べ 90 年以降の平均が 0.7℃ほど高くなっています。この差は、常に外気にさらされている果樹にとっては無視できない状況といえます。

このような状況下において、本県の柑橘栽培においても温暖化の影響とみられる問題が現れているため、その対応策として、果樹研究センターにおいては次のような研究を行っていますので紹介します。

○これまでに得られた成果

・秋に暖かく雨が多い気象条件下では、温州ミカンで特に浮き皮の発生が多くなります。このため、9 月にジベレリンとジャスモン酸の混用液を散布することで浮き皮の発生を軽減できる技術を開発しました。

○現在行っている研究

・やはり秋に暖かく雨が多い気象条件下では、柑橘類全般に「水腐れ」と称する果皮障害の発生が問題となっており、植物ホルモン剤の使用や技術の体系化により、その軽減に取組んでいます。

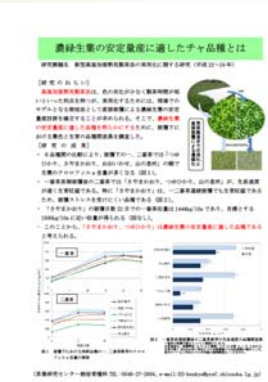
○今後、取組むべき研究

・本県は全国一の貯蔵ミカンの産地ですが、温暖化の影響から貯蔵庫内の温度が上昇し、2 月以降の長期貯蔵が困難な状況にあります。このため、貯蔵中の腐敗による損失を減少する観点から収穫、貯蔵期間の拡大を図るために腐敗防止技術を開発し、さらに成熟が遅く貯蔵性が高い品種を育成する必要があります。

トピックス

研究成果写真集を発行します。

平成 23 年度の農林技術研究所の主な研究成果を分かりやすく解説した「研究成果写真集」を発行します。研究所のホームページにも４月上旬には掲載しますので、そちらをご覧ください。



研究所ホームページ
URL：http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/

研究情報

ガーベラの花持ち向上対策

静岡県は、ガーベラの生産量全国第 1 位です。消費者へのアンケート調査では「花茎の腐り・曲り」が原因で「1 週間観賞できなかった」との回答が約 8 割の方からありました。そこで、消費者がガーベラを購入する際、1 週間の花持ちを保証した上で販売するために必要な技術の開発に取り組んでいます。

ガーベラを生けた水は、初夏から秋の高温期を中心に、雑菌等の繁殖により白く濁りやすく、この濁りを放置すると花茎が腐り、曲がります。このため、生け花後に水を小まめに替えるか、雑菌の繁殖を防ぐ効果のある品質保持剤を添加することにより花持ちが向上します。また、花茎基部が付いたままの状態なら白く濁った水に生けても腐りにくいことから、生産者がダンボールで出荷する際は、なるべく花茎基部を切り捨てない方が良いことが明らかとなりました。

花茎基部を切り取り、白く濁った水に生けると花茎が腐り、曲がる(一番右端)

今後は、生産者が花の開花を遅らせる効果がある品質保持剤を利用することにより、観賞期間を飛躍的に延ばす技術の開発に取り組んでいく予定です。

（花き科　外岡　慎）

鮮やかな黄花のマーガレット新品種‘カーニバルクイーン’

マーガレットは、静岡県南伊豆地域の特産花きとして昭和初期から栽培されています。マーガレットの交配では、花粉親として近縁属のハナワギクの花粉を交配することで、新しい花色やを持つ属間雑種が育成できることを明らかにしてきました。

このたび、農林技術研究所では 31 番目のマーガレット品種‘カーニバルクイーン’を育成しました。‘カーニバルクイーン’は平成 20 年度に育成品種‘ムーンライト’にハナワギク（黄）の花粉を交配して得た 5 個体から選抜しました。その後、場内での選抜と現地適応性試験において有望性が確認できたことから、平成 22 年 5 月に育成を完了しました。

‘カーニバルクイーン’は、平成 23 年 3 月 28 日付けで品種登録出願し、6 月 28 日付けで出願公表されました。今後、許諾予定先である静岡県東部花き流通センター農協より、本格的な全国出荷が行われます。

写真　‘カーニバルクイーン’の草姿

（伊豆農業研究センター　栽培育種科　稲葉善太郎）

編集・発行　　静岡県農林技術研究所
〒438-0803　　静岡県磐田市富丘 678-1　　URL：http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/
TEL．0538(36)1553（企画調整部）　FAX 0538(37)8466　　E-mail：agrikikaku@agri-exp.pref.shizuoka.jp-